

## 目的

重度な要介護状態となっても 住み慣れた地域で 自分らしい暮らしを 人生の最後まで続けること

### 施策の方向性（富山県高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業支援計画）

### R3年度 県の支援事業

#### ◆生活支援・介護予防

- 介護予防の普及啓発及び市町村が行う介護予防活動への支援
- 地域リハビリテーション支援体制の推進
- 市町村が取り組む高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進に向けた支援
- 生活支援体制の充実と地域住民が支え合う地域づくり  
<参考指標>  
 生活支援コーディネーター養成及び生活支援体制整備に関連する研修会等の延べ受講者数  
 H27：261人 ⇒ R2：914人

支援

#### ◇介護予防と生活支援サービスの充実

- ◇市町村における多様な介護予防活動の展開を促進するため、**県外の好事例**を学ぶセミナーや**担当者の意見交換会**を開催（予算52万円）
- ◇**介護予防事業等へのリハビリ専門職等の派遣体制の構築**によるリハビリテーションの質の向上に取り組み、市町村における介護予防事業等の取り組みを支援（予算500万円）
- ◇実施市町村の現状把握や課題解決に向けた情報共有等への支援及び後期高齢者医療広域連合と連携した**市町村職員向け研修会の開催**
- ◇多様な担い手の育成・確保、地域の取り組みの発掘やサービス開発に向けた**生活支援コーディネーターの養成研修及び資質向上研修の実施**（予算：47万円）

生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やそのネットワーク化などを実施

#### ◆在宅医療と介護の連携

- 24時間365日対応可能な在宅医療及び訪問看護等の確保・推進  
<参考指標>  
 訪問診療を行っている診療所・病院数(人口10万人対) H27：26.0カ所⇒H30：26.2カ所  
 訪問看護ステーション数(人口10万人対) H28：5.7事業所 ⇒ R2：7.6事業所
- 在宅医療・介護を支える関係者の連携・相互理解の促進  
<参考指標>  
 退院調整支援実施率 H26：76.7% ⇒ R2：87.1%

支援

#### ◇在宅医療・介護連携の推進

- ◇県在宅医療支援センター(委託：県医師会)を設置し、**在宅医師の新規参入**のための研修や多職種連携に向けた普及啓発等の体制整備を支援（予算：1,200万円）
- ◇**病院看護師と訪問看護ステーション職員との人材交流・相互研修等**による看護スキル向上及び連携強化を支援（予算：509万円）
- ◇**入退院調整ルールの普及**や市町村と郡市医師会の連携支援等在宅医療と介護連携推進に向けた取り組みを支援（予算：145万円）

要介護状態の患者の退院時に医療機関と介護支援専門員において在宅療養生活に向けた医療・介護サービスの調整を実施した割合

#### ◆認知症

- 認知症への理解を深めるためのキャンペーンや認知症サポーターの養成などの普及・啓発の推進  
<参考指標>  
 認知症サポーター数 H29：108,634人 ⇒ R2：136,516人
- 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の体制整備及び有機的な連携体制の構築の推進
- 認知機能の低下のある人や認知症の人への早期診断・早期対応のため医療従事者等の人材育成の推進
- 若年性認知症の特性に配慮した支援の推進

支援

#### ◇認知症施策の推進

- ◇認知症への正しい理解と地域全体の見守り体制を推進するための**ライトアップ**による普及啓発の実施（予算：70万円）
- ◇早期の的確な診断、介護との連携を推進する**認知症疾患医療センター（4箇所）の運営及び地域連携体制を支援**（予算：2,118万円）  
早期診断・早期対応するための医療や介護の専門チーム 医療・介護及び地域の支援機関との連携を図る人
- ◇更なる認知症初期集中支援チーム員及び地域支援推進員の**養成並びに資質向上研修**を実施（予算：237万円）
- ◇若年性認知症の特性に配慮した就労・社会参加支援等を推進する**若年性認知症相談・支援センターの設置**（予算：519万円）